

# 令和4年度 部長政策宣言 達成状況報告

企 画 管 理 部 長

財 務 管 理 部 長

市 民 生 活 部 長

福 祉 保 健 部 長

産 業 経 済 部 長

都 市 整 備 部 長

上 下 水 道 部 長

会 計 管 理 者

教育委員会事務局長

消 防 長

市民病院事務局長

## 令和４年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 小塚 悟

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	第３次射水市総合計画の策定
目 標	「未来世代から選ばれるまち いみず」を目指し、これまで以上に満足度の高い新たなまちづくりを推進するため、市民意識調査やタウンミーティング等で市民の皆様からいただいた意見を踏まえるとともに、ウェルビーイングといった新たな観点も取り入れながら、第３次射水市総合計画を策定します。
年 度 末 達 成 状 況	「いろどり ひろがる ムズムズ射水」を将来像に掲げる計画案を、１１月１８日に射水市総合計画審議会から答申いただき、その内容に基づく基本構想・基本計画策定の議案を市議会１２月定例会において議決いただきました。
自 己 評 価	審議会やパブリック・コメントでいただいたご意見を反映し、ライフステージごとの構成とした市民目線の新しい総合計画を策定することができました。今後、この基本構想・基本計画の実現に向けた具体的な事務事業を定める実施計画の策定作業を進めます。

事業名	行財政改革の推進
目 標	本市の補助金制度の適正な運用を図り、市の政策目的を効率的かつ効果的に実現していくため、補助金ガイドラインの策定に取り組むほか、引き続き第４次行財政改革大綱及び集中改革プランの進行管理に努めるなど、着実に行財政改革を進めます。
年 度 末 達 成 状 況	補助金ガイドラインについては、行財政改革推進会議での審議を経て９月に策定し、ガイドラインに示した基本的な視点、見直しの基準に沿って補助金が適正かつ効果的に運用されているか検証作業を進めたほか、集中改革プラン令和４年度改訂版に基づき、行財政改革の取組を進めました。
自 己 評 価	当初目標のとおり、行財政改革の取組を進めることができました。引き続き本市の規模に見合った健全で持続可能な行財政基盤の堅持に向け、デジタル技術の活用や公民連携等による行財政改革の取組を一層推進してまいります。

事業名	D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進
目 標	<p>新たなデジタル技術を活用し、市民サービスの充実と利便性向上を図るため、本市をフィールドとした高等教育機関との共同研究に取り組みます。</p> <p>また、多様化するニーズへの対応など市民サービスの充実を図るため、A I（人工知能）やR P A（ロボット）を活用した定型業務の自動化による業務の効率化に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>「新しい地域交通」、「シェア社会」、「健康管理」を富山県立大学D X教育研究センターとの共同研究テーマとして掲げ、自動運転の課題調査やカーシェアリングの実証、健康アプリを活用した行動変容などの研究に取り組みました。</p> <p>また、A IやR P Aを活用し、新たに3業務の自動化を行い、年間約348時間の業務時間を削減するなど、業務の効率化に取り組みました。</p>
自 己 評 価	<p>D Xの推進に当たっては、大学が持つ先端的な技術や知見を生かした調査・研究を共同して進めることができました。引き続き、誰もが利便性を実感できる生活スタイル変革の実現に向け取り組みます。</p> <p>また、庁内業務のデジタル化による市民サービスの充実についても継続して推進します。</p>

## 令和4年度 財務管理部長「政策宣言」達成状況

財務管理部長 北 辰巳

### ○ 令和4年度重要事業

事業名	税財源の確保及び健全な財政運営
目 標	<p>新型コロナウイルス感染症による市税への影響の把握に努めるとともに、引き続き、公平・公正な課税の実施、多様な納付環境の整備と適正な滞納処分の執行による税財源の確保に努めます。</p> <p>また、中長期的な財政見通しを踏まえ、事務事業の適正化や基金への積立て、市債の繰上償還を行うなど、健全な財政運営に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>法人に対するアンケート調査の実施及び公的機関等が発表する経済指標を確認するなど新型コロナウイルス感染症による市税等への影響の把握に努めるとともに、地方税法等の規定に基づき、公平・公正な賦課徴収を実施しました。</p> <p>収納管理では、QRコードの読み取りによる電子決済機能を追加するためのシステム整備を完了しました。</p> <p>また、将来を見据えた財政運営のため、令和3年度決算上剰余金を活用して繰上償還を行うとともに、令和5年度当初予算では、限られた財源の中、真に必要な施策に重点的に予算配分されるよう、事業の厳格な優先順位付けなど不断の見直しに取り組み、財政調整基金を活用しない予算編成としました。</p>
自 己 評 価	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、所要の税制対策を講じるとともに、申告相談会では「A I」を活用した電話予約の実証実験を実施するなど感染症対策と業務の効率化を進めることができました。</p> <p>また、QRコードの読み取りによる電子決済機能を追加することで、納付環境の拡充を図り、多様な納付環境の整備に努めました。引き続き、公正かつ適切な賦課徴収並びに健全な財政運営に努めてまいります。</p>

事業名	防災・減災対策の推進
目 標	<p>地域振興会など一定の地区の居住者及び事業者によって、自発的に行われる防災活動について定める地区防災計画の策定支援に取り組み、地域コミュニティにおける共助による防災活動を推進します。</p> <p>また、防災士や自主防災組織のリーダーの育成・活動支援に努めるとともに、市職員の研修や訓練の実施など、災害時における迅速な対応の確保に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>地区防災計画については、防災講演会を開催し、地域住民の防災についての意識や知識を高めるとともに、計画策定に向けた取組体制を整備しました。</p> <p>また、地域振興会と連携した防災士の養成（10名）、自主防災組織リーダー研修会の開催など地域の防災力向上に努めたほか、市総合防災訓練を開催し、応急対応力の強化に努めました。</p>
自 己 評 価	<p>地区防災計画については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、多くの地域振興会と策定に向けて協議しており、引き続き支援を続けていきます。</p> <p>また、各種取組を通じ、災害発生時の初動体制の確立・習熟を図ることができました。引き続き、災害に強いまちづくりに向け、防災・減災対策の推進に努めます。</p>

事業名	公共施設等のマネジメントの推進
目 標	<p>今年度から導入した公共施設包括管理業務を着実に実施し、施設の安全性の向上や業務の効率化に努めます。</p> <p>また、広く民間事業者との連携を進め、新たなアイデアやノウハウを生かした公共施設等のマネジメントを推進します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>市内事業者や包括管理業務受託者と連携し、きめ細かな修繕を行うなど、公共施設の安全性・快適性の向上につなげました。</p> <p>また、「公共施設及び未利用市有地等に関する民間提案制度」を導入し、公共施設の脱炭素化や利便性の向上など6つの提案を事業化しました。</p>
自 己 評 価	<p>引き続き多様な民間事業者と連携を図りながら、公共施設マネジメントの様々な取組を推進してまいります。</p>

## 令和４年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 長谷川 寛和

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	市民活躍の推進
目 標	性別に関わりなく、誰もが個性と能力を発揮して、活力ある地域社会を築くため、市内企業等における女性リーダーの育成とネットワークづくりを目的とした女性活躍塾を開催するなど、女性をはじめ市民がいきいきと活躍できる環境づくりに取り組みます。
年 度 末 達 成 状 況	女性リーダーの育成と職種・職域の枠を超えたネットワークづくりを目的とした「いみずキャリアステップ応援塾」を全５回の日程で開催しました。 また、女性の雇用の安定化とともに、女性が持てる能力を発揮し、いきいきと働けるよう、キャリアアップ応援補助制度を創設し、就業や起業を目指す女性の支援を行いました。
自 己 評 価	引き続き、市民の誰もが個性と能力を発揮して、あらゆる分野や場面で、いきいきと活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目 標	射水市DXビジョンに掲げた、デジタル技術を取り入れた新たなモビリティサービスの導入を見据え、公道での自動運転車両の運行における課題を調査します。 また、高齢者等の近距離移動手段の確保に取り組む地域の拡大や、越中大門駅のバリアフリー化に取り組むなど、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	自動運転車両の運行に向け、民間事業者に課題の調査を委託し、課題を整理しました。 また、高齢者等の近距離移動手段の確保に取り組む地域を支援する地域あいのり補助制度について、地域振興会に説明を行い、普及に努めました。 越中大門駅のバリアフリー化については、実施主体であるあいの風とやま鉄道（株）と連携し、エレベーター設置に係る基本設計を行いました。
自 己 評 価	各種取組を通じ、地域公共交通の利便性向上を推進することができました。 今後は、自動運転の課題解決に要する費用等も踏まえた取組方針の検討をはじめ、地域あいのり実施区域の拡大や越中大門駅へのエレベーター設置に係る取組を進めるなど、引き続き、持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現に努めます。

事業名	再生可能エネルギービジョンの策定
目標	2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガス排出量の推計や再生可能エネルギー導入の可能性を調査するとともに、再生可能エネルギー導入目標や導入促進のための取組を検討し、本市における将来ビジョンや脱炭素シナリオを作成します。
年度末達成状況	本市の温室効果ガス排出量の現況や再生可能エネルギーのポテンシャルを把握するとともに将来のエネルギー使用量を推計し、再生可能エネルギーの導入目標や脱炭素削減シナリオを示す「射水市再生可能エネルギービジョン」を策定し、公表しました。
自己評価	今後は、本ビジョンを基に本市のカーボンニュートラル実現に向け、市民の皆様、事業者の皆様、行政が総合的かつ計画的に取り組む具体的な施策を示す「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」を策定し、取組を進めてまいります。

## 令和４年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 小見 光子

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進
目標	新型コロナワクチン接種の推進や感染防止対策の徹底など、引き続き関係機関と連携し、感染症のまん延防止に努めます。
年度末達成状況	ワクチン接種は、医療機関での個別接種体制を確保し、オミクロン株対応ワクチンの接種、また乳幼児（６か月～４歳）、小児（５～１１歳）の接種を実施しました。 感染防止対策については、感染状況に応じて、基本的な感染対策の徹底とともに流行の備えなど情報発信に努めました。
自己評価	関係機関との連携を通じて、感染症のまん延防止を図ることができました。令和５年度も引き続き、接種を安全に迅速に実施できるよう関係機関と連携するなど、ワクチン接種の推進と感染予防対策の周知に努めてまいります。

事業名	子育て支援の推進
目標	安心して子どもを産み育てることができるよう、産後家事サポート事業や多胎ピアサポート事業を拡充するとともに、令和４年１０月から子ども医療費の助成対象年齢を入院・通院とともにこれまでの１５歳から１８歳までに拡大するなど、子育て環境の更なる充実を図ります。
年度末達成状況	産後家事サポート事業については、令和４年度より対象者を生後６か月未満（多胎の場合は生後１年未満）までに拡充しました。 また、多胎ピアサポート事業を開催し、多胎児を持つ妊産婦の悩み解消を図るとともに、仲間づくりの場の提供を行いました。 子ども医療費の助成対象年齢については、令和４年１０月診療分から入院・通院とともに１８歳（高校生世代）までに拡充しました。
自己評価	産前産後の母親の心身の負担を軽減できるよう、母親をサポートする事業を引き続き実施してまいります。また、多胎児をもつ母親に寄り添いながら、多胎ピアサポート事業を継続してまいります。 子ども医療費助成については、令和５年以降も引き続き子どもの疾病の早期治療を促進するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減に努めてまいります。



事業名	健康寿命の延伸に向けた健康づくりと介護予防の推進
目 標	<p>市民一人ひとりが自ら健康な生活習慣に取り組めるよう、8つの行動目標「Let'sトライ！IMIZUSHI 健康<sup>エイト</sup>8」の普及を図るとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防に向けた効果的かつ継続的な保健事業を推進します。</p> <p>また、高齢者が楽しみながら介護予防やフレイル予防ができるよう、運動習慣の獲得や健康増進につながる活動の普及に努めます。</p>
年度末 達成状況	<p>8つの行動目標「Let'sトライ！IMIZUSHI 健康<sup>エイト</sup>8」について、分かりやすく伝えるため、ケーブルテレビでの健康8劇場の放映やリーフレットの配布など情報発信に努めました。</p> <p>生活習慣病の発症や重症化の予防事業について、対面での保健指導に加え、糖尿病予防のオンライン保健指導の導入や健康アプリを使用し、日々の健康データを「見える化」することで生活習慣の改善を支援しました。</p> <p>また、地域の通いの場では100歳体操の支援やフレイル予防の教室などを実施し、運動習慣の獲得や健康増進につながる活動の継続に向けた環境づくりを推進しました。</p>
自己評価	<p>市民の健康な生活習慣の促進を図ることができました。今後も健康寿命の延伸に向けて、引き続き関係各課、関係機関と連携を図り、ICT（情報通信技術）も活用し、ライフステージに応じた地域ぐるみの健康づくりを推進してまいります。</p>

## 令和４年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 宮本 康博

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	中小企業等への支援の実施
目標	新型コロナウイルス感染症の長期化により、経営に多大な影響を受けている中小企業や個人事業者に対して、ウィズコロナにおける事業の活性化に向けた支援の充実に取り組みます。
年度末達成状況	燃料費等の価格高騰の影響を受ける市内貨物運送事業者への支援を実施するとともに、射水市商工協議会が実施する「射水市消費喚起プロジェクト」に対する支援を行うなど、事業者支援やコロナ禍で落ち込んだ消費の喚起に取り組みました。
自己評価	市内商工団体と連携した経済対策を実施したことにより、市民をはじめ、幅広い業種等への支援が図られたと考えています。 引き続き、経済状況や中小企業のニーズ、国や県の支援策の動向を注視しながら、中小企業等の支援の充実に努めます。

事業名	観光の振興と移住定住の促進
目標	「射水市観光振興計画」の見直し作業の中で、ウィズコロナ・アフターコロナにおける観光の多様化への対応や、観光施設の更なる活用など、具体的取組を検討します。 また、移住定住への支援を行うことにより、これまで以上に観光客や移住希望者に選ばれる地域づくりを進めます。
年度末達成状況	「食・景観・文化の魅力を活かした稼げる観光地域づくりを目指して」を基本目標とした「第２次射水市観光振興計画」を策定しました。また、移住希望者への市内案内や新たに移住モニターツアーを開催し、移住先としての本市の魅力発信に取り組みしました。
自己評価	新たな観光振興計画の目標達成に向けて、関係団体等と連携を図りながら観光推進施策に取り組むとともに、移住促進については、好評だった移住モニターツアーの開催やSNSなどを活用し、移住先として選ばれるよう魅力発信に努めます。

事業名	持続可能な農林水産業の推進
目 標	水田農業におけるもみ殻を活用した循環型農業の振興や主食用米から園芸作物等への転換支援、水産業における資源管理型漁業の支援を行う等、いみずのブランド力向上による持続可能な農林水産業の推進に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	<p>農業では、もみ殻シリカ灰を活用した肥料の実証支援の実施や企業等が持つ技術と農業を結びつけ農業の成長化を図る「射水市アグリテックバレー構想」を策定しました。</p> <p>水産業では、ICTを活用した海洋情報観測機器の導入支援を行いました。</p> <p>また、物価高騰に対し農業者や漁業者等に緊急支援を行いました。</p>
自 己 評 価	<p>農林水産業における環境負荷低減の取組や、スマート技術の推進による生産の省力化や効率化を図ることができました。</p> <p>引き続き、農林水産業が抱える課題解決と、経営安定化を図り、持続可能な農林水産業の推進に努めます。</p>

## 令和４年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 吉田 忠

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	安全・安心な道路網の確保
目 標	<p>地域を連絡する道路や生活に密着した道路の整備を進め、交通ネットワークの強化を図ります。</p> <p>また、橋梁の長寿命化や幹線道路の補修工事を実施し、安全で安心して利用できる道路環境を確保します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>道路改良事業では、市道朴木赤井線・大門針原線・三ヶ34号線、橋梁長寿命化修繕事業では、作道橋及び小杉大橋、また、舗装補修事業として、市道本田土合線・大門本江大白線・今井小杉白石線の工事を実施しました。</p>
自 己 評 価	<p>計画どおり事業を進めることができました。引き続き、道路改良工事、橋梁長寿命化修繕工事、舗装補修工事に取り組み、交通ネットワーク強化と安全で安心な道路環境の確保に努めます。</p>

事業名	憩いとうるおい環境の充実
目 標	<p>にぎわいや憩いの場を創出する公園については、民間活力を生かした公園整備や公園施設の計画的な更新や補修により、快適性や機能の充実を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>民間活力による公園整備事業として、本開発地区土地区画整理事業内において、公園整備事業者を公募により選定し、建設に関する契約の締結を行いました。また、計画的な公園施設の更新では、足洗潟公園の南側のトイレ更新工事を実施しました。</p>
自 己 評 価	<p>民間活力を生かした公園整備については、令和５年度末の完成に向けて工事着手しており、目標は概ね達成できました。</p> <p>また、計画的な公園施設更新については、引き続き、適切な事業推進に努めてまいります。</p>

事業名	住環境の充実
目 標	<p>災害に強く安全で快適な住環境づくりを推進するため、引き続き、木造住宅の耐震化を促進するとともに、老朽空き家の対策支援を行います。</p> <p>また、市営住宅の適正な維持管理及び長寿命化を進めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>防災対策のために木造住宅耐震改修で５件、また、良好な住環境の形成に向けた老朽危険空き家の解体９件に対し、補助を実施しました。また、市営住宅については、殿村市営住宅１号棟において屋上防水工事を実施しました。</p>
自 己 評 価	<p>安全で快適な住環境を整えるため、引き続き、木造住宅の耐震化や老朽空き家の解消につながる制度の充実を図ってまいります。また、市営住宅については、引き続き、適正な維持管理に努めるとともに、計画的に長寿命化を進めてまいります。</p>



## 令和４年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況

上下水道部長 夏野 吉史

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	主要施設の長寿命化や設備更新のほか効果的な管路更新に取り組み、安定給水と耐震化を推進し、水道施設の強靱化を図ります。
年度末達成状況	主要施設である鳥越調整場低区調整池の耐震補強及び大規模補修が完了し、供用開始しました。 配水管更新事業については、計画に基づく事業の推進とともに効果的な事業の進捗に努めました。
自己評価	主要施設の耐震化などは、計画どおり進捗しています。水道管路については、積極的に更新し、安定給水と耐震化の推進に努めます。

事業名	雨水対策事業
目標	近年の激甚化・頻発化する豪雨による浸水被害の軽減を図るため、片口、枇杷首、作道及び小島地内の雨水対策事業の推進に取り組み、施設の早期整備に努めます。
年度末達成状況	片口地内は管渠工事が７月末に完了し、供用を開始しました。 また、作道地内及び枇杷首地内については、雨水対策施設工事を現在施工中であり、小島地内は設計業務を終えたところです。
自己評価	整備計画に基づき、概ね計画どおり進捗しています。継続事業については、引き続き、早期完成に向け、事業の推進に努めます。

事業名	広報・広聴の充実
目標	「水道ビジョン」及び「下水道ビジョン」に掲げた事業を確実に実施するとともに、広域及び官民連携などによる効率化に取り組み、将来にわたり持続可能な事業運営基盤の確立に努めます。 また、生活に欠かせない上下水道事業の状況を広報誌やホームページを活用し、わかりやすく市民の皆様にお伝えします。
年度末達成状況	ビジョンに掲げた事業を確実に実施し、水道の老朽管路については、予定を上回る延長を更新しました。 市民の皆様への情報提供については、「より詳しくわかりやすく」をコンセプトとした web 版広報「いみずの水」を作成し、ホームページに掲載しました。
自己評価	将来にわたり健全な持続可能な事業運営基盤の確立するため、引き続き、計画事業を確実に実施するとともに、より効率的な事業運営と情報提供に努めます。

## 令和４年度 会計管理者「政策宣言」達成状況

会計管理者 渡邊 昇信

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	正確な収支見通しの把握に努めるとともに、安全性の確保を最優先とし、より効率的な公金の管理・運用を図ります。
年度末達成状況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い、利子収入を確保しました。
自己評価	公金の安全かつ有利な運用に努め、一定の利子確保を図ることができました。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等への公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
年度末達成状況	２月末までに、予定していた１４か所（金融機関２か所を含む。）すべての現地調査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
自己評価	各課、出先機関において、公金取扱業務の適正な執行を確認しました。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令等に基づき、厳正かつ迅速な伝票審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
年度末達成状況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を５月に実施しました。
自己評価	研修会の実施等を通じて、適切な会計処理を周知することができました。また、適正で確実な支払事務の執行に努めました。

## 令和４年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 久々江 豊

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	持続可能な部活動、学校の働き方改革の推進
目 標	令和５年度からの休日の部活動の段階的な地域移行に向け、運動部活動におけるモデル事業を実施し、活動場所や指導者の確保などの課題を整理し、円滑に地域移行できるよう取組を進めるとともに、教員の部活動従事に伴う多忙化を解消し、学校の働き方改革の推進に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	モデル事業として９月から３月までに３競技（バスケットボール、剣道、柔道）の休日の地域移行を各競技概ね２０回実施しました。活動を行う中で、活動場所への送迎や連絡系統などが課題であることを把握しました。 また、３月に実施したアンケート調査では参加した生徒の約７割が活動に概ね満足、３競技の部活動顧問である教員の約８割が負担軽減につながったと回答しており、円滑に地域移行できるように取り組むとともに、学校の働き方改革の推進に努めました。
自 己 評 価	モデル事業を実施しつつ、課題解決を図りながら、引き続き、全部活動が円滑に地域移行できるよう取組を進めるとともに、学校の働き方改革に努めます。

事業名	心身ともに健やかな子どもの育成
目 標	本市では、家族とのふれあいや団らんが子どもの健全な成長に繋がるものとして毎月２５日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としており、市内企業や各種団体と連携し「あったか家族」の普及啓発に努めます。 また、不安を抱えている児童生徒や家庭への支援を推進するため、引き続き家庭教育専門支援員等による教育相談体制の充実に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	市内企業や団体と協力して、「あったか家族応援割引クーポン」の配信を継続したほか、「あったか家族応援ダンス」動画を作成・配信し、更なる「あったか家族」の普及啓発活動を展開しました。 また、家庭教育専門支援員を２名配置し、学校やスクールカウンセラー、関係機関等との連携を図ることで、不安を抱える児童生徒の支援を行いました。
自 己 評 価	「あったか家族」については、市内企業や団体等と連携協力するとともに、各種イベントにおいてのぼり旗や動画を活用し、引き続き、普及啓発に努めます。 また、家庭教育専門支援員を継続配置し、専門性の高い相談体制及び不安を抱える児童生徒に対する家庭支援の充実に努めます。



事業名	文化財の保存とフットボールセンターの活用
目 標	<p>国重要無形民俗文化財である放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の作成に着手するとともに、文化庁の地域文化財総合活用推進事業を活用し、稚児舞や海老江・大門曳山行事の保存継承のための支援を行います。</p> <p>また、4月にオープンしたオリバースポーツフィールド射水（フットボールセンター）の利用促進に努めるとともに、周辺の賑わい創出に努めます。</p>
年度末 達成状況	<p>放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画を着実に進めるとともに、地域文化財総合活用推進事業による稚児舞や曳山の用具新調に伴う支援を行いました。</p> <p>オリバースポーツフィールド射水については、利用者が今年度の目標としていた5万人を上回り、約5万8千人（令和5年2月末現在）となりました。また、多様なスポーツを体験できるイベント「オリスポフェス2022」を開催するなど、賑わい創出に努めました。</p>
自己評価	<p>国の補助事業を活用し、市の貴重な文化財である曳山や稚児舞、流鏝馬等の保存・継承を図りました。今後も保存継承への支援や文化財保護意識の高揚に努めます。</p> <p>フットボールセンターについては、目標利用人数を大幅に上回るなど交流人口の拡大につながっています。引き続き、サッカーやラグビーの利用だけでなく、各種体験イベントの実施や合宿誘致に努め、多くの方に利用していただける施設となるよう取組を進めます。</p>

## 令和４年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 竹内 秀樹

### ○ 令和４年度重要事業

事業名	社会情勢等の変化に対応した防火対策の推進
目 標	<p>市内で高齢者宅からの火災が相次いだことから、高齢者への住宅防火対策について、老人会、１００歳体操等を活用するなど、機会をとらえて効果的に啓発します。</p> <p>また、高齢者人口の増加に伴い社会福祉施設の増加が予想されることから、社会福祉施設等における避難訓練・査察により防火安全性の向上を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>高齢者の集まる機会を捉えて防火指導を行い、また新型コロナウイルス感染症により中止していた住宅防火診断を再開し、火災予防の啓発に努めました。</p> <p>また、社会福祉施設等での夜間を想定した避難訓練では、施設職員と災害時の対応を確認し、初期消火・通報・避難についての訓練も実施するとともに、査察も実施して法令違反がないよう指導しました。</p>
自 己 評 価	<p>今後もますます増える高齢者の方々を災害から守るため、住宅での防火、社会福祉施設等での防火指導を行うことができました。今後も関係機関と協力し、独居の高齢者宅への防火指導も行い、火災による死者ゼロを目指します。</p>

事業名	救命率の向上
目 標	<p>救急救命士を指導する立場の人材を養成し、救急教育計画に基づく訓練、学習を行い、知識・技能の維持・向上を図り、より質の高い救急業務を実施します。</p> <p>また、１１９番受付時の応急手当の口頭指導やドクターヘリ の要請を的確に判断し、救命率向上に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>改定した救急教育計画に基づき、新任救急隊員への教育訓練、多数傷病者への対応訓練を行い、救急技術の向上を図りました。</p> <p>また、通信指令員が１１９番通報者に応急手当を指導する技術を訓練し、救命率の向上につなげました。</p> <p>市民向けにも、市ホームページに救命処置を学ぶ動画を公開し、応急手当の普及に努めました。</p>
自 己 評 価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、救急需要が大幅に増加する中、救急体制の維持・確保ができました。今後は、コロナ禍で受講者数が少なかった救命講習をより多くの市民に受講していただき、救命率の向上を図ります。</p>

事業名	大規模災害への対応力の強化
目 標	<p>災害発生時に欠かすことのできない消防団員の加入促進及び消防団員の活動環境整備に努めます。</p> <p>また、近年多発する地震や集中豪雨等の自然災害に対し、消防職団員への研修を実施し、消防としての対応力の向上を図ります。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>消防団員の活動環境整備について、七美分団屯所を改築し団員の方々の駐車場やホース洗い場を確保したほか、全分団の約半分の11分団に防火ヘルメット及び防火衣の更新を行い、安全性を高めました。</p> <p>消防職団員への研修として、台風により大きな被害を受けた長野市の事例について学んでもらい、今後の災害発生時の対応力の向上に努めました。</p>
自 己 評 価	<p>消防団員の加入促進については現状を維持しつつ、今後も地域の安全を守るために重要な役割を果たす消防団員の重要性、魅力を発信し増員につなげます。</p> <p>また、コロナ禍で実施できていない市の操法大会を開催し、消火技術の向上を目指します。</p>

# 令和４年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 中野 剛

## ○ 令和４年度重要事業

事業名	健全経営に向けた経営の強化
目 標	地域の中核病院として、地域医療の確保と高度で質の高い医療を持続的に提供していくため、医師の確保、救急医療体制の充実、地域連携の強化により患者確保に取り組み、経営改善を図ることで健全な病院運営に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	前年度に引き続き、積極的な救急搬送患者の受け入れや地域連携の強化に努めて患者確保に取り組みましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、患者数、収益ともに前年度と比較して減少しました。
自 己 評 価	引き続き、徹底した感染対策に取り組みながら、医療・介護施設等の連携を一層強化し、患者確保に努めることで経営改善を図り健全な病院運営に努めます。

事業名	新興感染症への対応
目 標	ＩＣＤ（インфекションコントロールドクター）や感染管理認定看護師の配置や拡充を図るとともに、検査や患者受入体制を強化するなど感染対策に取り組み、新型コロナウイルス感染症を始めとした新興感染症拡大防止に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	新たにＩＣＤを１名配置するとともに、感染管理認定看護師の配置拡充を図りました。 また、新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けて入院患者に対応するとともに、感染対策合同研修会の実施や指導を行うなど、地域の基幹病院として感染症対策に取り組みました。
自 己 評 価	引き続き、地域医療機関への指導・助言を行うなど、市の感染対策における基幹病院としての務めを果たしてまいります。

事業名	地域包括ケアの推進
目 標	地域包括ケア病棟を活用し、医療機関や介護施設からの在宅療養患者等の積極的な受け入れや在宅復帰支援を行うことで、地域の基幹病院として医療・介護連携を推進するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境の構築に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	医療機関からのみならず、福祉・介護施設からの転院や紹介患者、レスパイト入院等を積極的に受け入れ、地域包括ケア病棟を活用して在宅復帰に向けた医療提供体制の充実を図りました。
自 己 評 価	地域包括ケア病棟について、地域包括ケアシステムの基幹病院の役割を果たすべく、積極的にＰＲに努めるとともに受入れ体制の充実を図ってまいります。

事業名	専門外来の充実
目標	「鼠径ヘルニア日帰り手術センター」や「子どものこころの外来」などの専門外来の充実を図り、地域住民が必要としている幅広い医療の提供に努めます。
年度末達成状況	「鼠径ヘルニア日帰り手術センター」に加え、新たな専門外来として、令和4年5月から、富山県の拠点病院の一つとして「子どものこころの外来」を設置して、市内の発達障害の疑いのある小児などが速やかに受診、検査できる体制を整備しました。
自己評価	市民のニーズに応えるべく、特色ある医療を幅広く提供できるよう、医療提供体制の充実に努めます。